

⑥ 手入れ、メンテナンスデータ

●手入れ

166

●メンテナンスデータ

181

手入れ

日頃の手入れ

車をいつまでも美しく保つためには日頃の手入れが必要です。

- 洗車やワックスがけなどを行うときは、それぞれの用品に記載されている説明をよく読み、用途や注意事項などを必ずお守りください。
- 月に1度、または水のはじきが悪くなったらワックスがけを行ってください。
- 塗装のとび石傷やかき傷は腐食の原因となります。
見つけたら早めにトヨタ純正タッチアップペイントなどで補修してください。
- 保管・駐車は風通しのよい車庫や屋根のある場所をおすすめします。
- 塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を付着させないでください。塗装を損傷します。万一、付着した場合はただちにふき取る、洗車するなどしてください。
- 次のような場合は塗装の劣化や車体・部品の腐食などを早める原因となります。
ただちに洗車してください。
 - 海岸地帯の走行をしたとき
 - 凍結防止剤を散布した道路の走行をしたとき
 - コールタール、樹液、鳥のふん、虫の死がいなどが付着したとき
 - ばい煙、油煙、粉じん、鉄粉、化学物質などの降下の多い場所を走行したとき
 - ほこり、泥などで著しくよごれたとき

外装の手入れ

洗車

- 1 十分水をかけながら車体、足まわり、下まわりの順番に上から下へとよごれを洗い落とします。
●車体は、スポンジやセーム皮のような柔らかいもので洗います。
- 2 よごれのひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流してください。
- 3 はん点が残らないように水をふき取ります。

⚠ 注意

下まわり、足まわりを洗うときは、手にけがをしないように注意してください。

👉 アドバイス

- エンジンルーム内の電気部品に水などをかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- 洗車するときは、硬いブラシやたわしなどを使用しないでください。塗装などに傷がつかます。

■自動洗車機を使用するときは

- ミラーは格納し、前側から洗車してください。
- ときによりブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- リヤスポイラー付き車は洗車機によっては、スポイラーがひっかかり洗車できない場合や傷ついたり破損するおそれがあります。

■高圧洗車機を使用するときは

ノズルの先端を窓ガラスなどに近づけすぎないでください。近づけすぎると水圧が高いため、室内に水がはいるおそれがあります。

ワックス

ワックスがけは洗車後、車体の温度が冷えているとき（およそ体温以下を目安としてください。）に行ってください。

内装の手入れ

- 1 カークリーナーや電気掃除機などでほこりを取り除きます。
- 2 水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふき取ります。

■本革シートの取り扱い・お手入れ方法★

本車両の本革シートには、厳選された天然素材を使用しています。
外観品質を長く保つために、年に2回程度は定期的にお手入れすることをおすすめします。



知識

天然素材のため、シボ（皮革表面肌の凹凸）の不均一や、牛皮革本来の傷がわかる場合があります。

- シート表面についたよごれは次の方法で取り除きましょう。

- 1 ウール用中性洗剤を約5%の水溶液まで薄めて、ガーゼなどのやわらかい布に含ませて、よごれを軽くふき取ります。
- 2 真水をひたした布を固くしぼり、シート表面に残った洗剤をふき取ります。
- 3 乾いたやわらかい布でシート表面の水分をふき取り、風通しの良い日陰で乾燥させます。



知識

シート表面に過剰な水分が残ると、皮革の風合い低下（硬化、収縮）の原因となります。

- シート表面についた砂、ほこりなどは、皮革表面の保護膜を傷つけ、早期摩耗の原因となります。掃除機などで吸い取りましょう。
- 皮革を炎天下に長期間さらすと色あせや硬化の原因となります。長期間炎天下に車を放置するときはボディに覆いをかけたり、サンシェード（日除け）を使用するなどして皮革を直射日光から守りましょう。

⚠ 警告

- シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。
また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。シートベルトの性能が落ち、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害を受けるおそれがあります。清掃するときは中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでシートベルトを使用しないでください。
- 室内の清掃などで車内に水をかけないでください。
オーディオ類やフロアカーペット下の電気部品などに水がかかると火災や故障の原因になるおそれがあります。
とくにSRSサイドエアバッグ装着車では、前席フロアにSRSサイドエアバッグの配線があるため、水がかかるとSRSサイドエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあり危険です。



アドバイス

- 内装の手入れをするときは、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみの原因になります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤をこぼさないように注意してください。含まれる成分によっては変色やしみ、塗装はがれの原因になるおそれがあります。
- リヤウインドウガラスの内側を清掃するときは、ガラスクリーナーなどを使用しないでください。熱線が断線し作動しなくなるおそれがあります。清掃は、熱線にそって、水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

エアコンの手入れ

エアコンにはエアフィルターがはいつています。

快適にお使いいただくため定期的な清掃、交換をおすすめします。

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

<清掃、交換の目安>

	清掃	交換
大都市・寒冷地など、交通量、粉じんの多い地区	走行5000kmごと (ただし、6ヵ月をこえないこと)	2年ごと
上記以外の地区	走行10000kmごと (ただし、1年をこえないこと)	2年ごと



アドバイス

エアコンの風量が著しく減少したり、ウィンドウが曇りやすくなる時はフィルターの目詰まりが考えられます。清掃または交換してください。

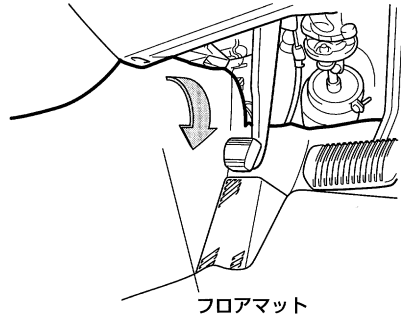


知識

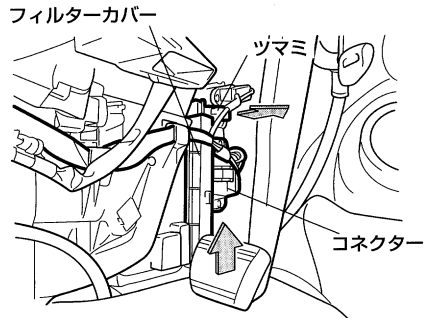
フィルターの取りはずし、取りつけは工具なしで行うことができます。

■エアフィルターの清掃

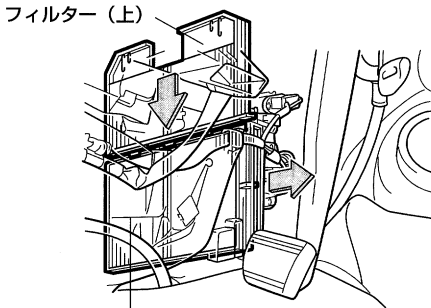
①フロアマットをめくります。



②コネクターをはずし、フィルターカバーのツマミを手前に引きながら、フィルターカバーを上スライドさせてはずします。



- 3 フィルター（下）を矢印の方向にスライドさせて引き抜き、フィルター（上）を下におろします。フィルター（上）をフィルター（下）と同じようにスライドさせて引き抜きます。



フィルター（下）

- 4 フィルター本体の裏面から、エアでフィルター面を均一に約5分間吹きます。



アドバイス

- フィルターを清掃するときは水洗いしたり、ブラシでこすったりしないでください。
- フィルターをエアで吹くときは、必ず裏面から吹いてください。

■エアフィルターの交換

- 1 清掃時と同じ手順でフィルター本体を引き抜きます。
 - 2 フィルターを取りはずし、新しいフィルターに交換します。
- 取りつけるときはフィルターにある「↑UP」のマークに注意してください。「↑UP」のマークを車両前方に向けて、矢印の先端部を上にしてください。



アドバイス

フィルターは必ず装着してください。装着せずにエアコンを使用すると、故障の原因となることがあります。

簡単な点検、部品交換

エンジンオイルについて

エンジンオイルの量をときどき点検してください。(点検方法については「メンテナンスノート」を参照してください。)

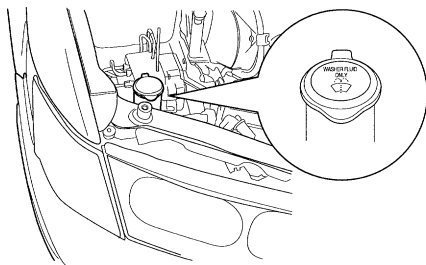
知識

エンジンオイルはエンジン内部の潤滑、冷却などをする働きがあります。通常の運転をしていてもピストンおよび吸・排気バルブを潤滑しているオイルの一部が燃焼室などで燃えるため、オイル量は走行とともに減少します。また、減少する量は走行条件などにより異なります。

ウォッシャー液の補給

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャータンクのキャップをはずし、ウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考に希釈して補給します。

■ウォッシャータンクの位置



- リヤワイパー用ウォッシャータンクはフロントワイパーと兼用です。

⚠ 注意

エンジンが熱いときやエンジンがかかっているときはウォッシャー液を補給しないでください。ウォッシャー液がエンジンなどにかかると、出火するおそれがあります。

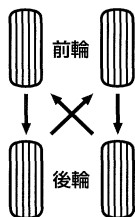
👉 アドバイス

ウォッシャー液のかわりに石けん水などをいれないでください。塗装のしみになるおそれがあります。

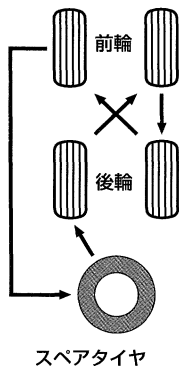
タイヤローテーション (タイヤ位置交換)

タイヤの偏摩耗やタイヤ間での著しい摩耗差を防ぐために、5,000kmごとにタイヤローテーションを行います。

〈スペアタイヤが応急
用タイヤの場合〉



〈スペアタイヤが標準
タイヤの場合〉



⚠ 注意

- タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。(24ページ参照)
- 日常点検として必ずタイヤの点検を行ってください。(13ページ参照)

🎓 知識

搭載されているジャッキを使用してタイヤ位置交換を行うときは、スペアタイヤを使用して1輪ずつ交換してください。

ヒューズの点検、交換

ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れやランプ自体の球切れが考えられます。

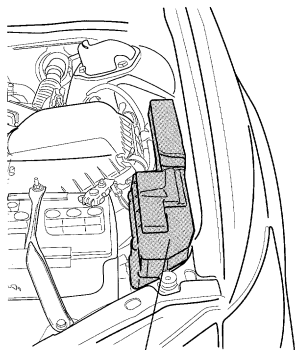
次の手順でヒューズの点検、交換を行ってください。

1 エンジンスイッチをLOCKの位置にします。

2 ヒューズボックスを開けます。

《エンジンルーム内ヒューズボックス》

●エンジンルーム左側にあります。

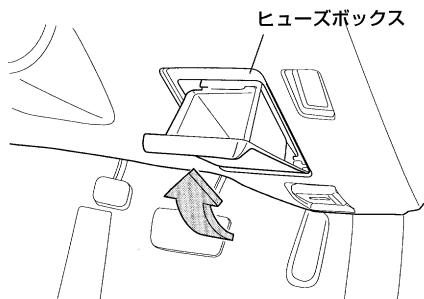


ヒューズボックス

《運転席足元ヒューズボックス》

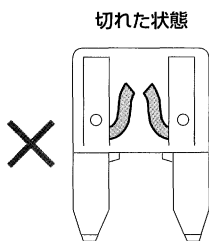
1 小物入れのフタを開きます。

2 フタを上へ引き抜きます。



ヒューズボックス

- 3 故障の状況から点検すべきヒューズを表（次ページ参照）で確認し、ヒューズは
ずしでヒューズを引き抜き、ヒューズが切れていないかを点検します。
- ヒューズはずしと予備ヒューズは、エンジンルーム内ヒューズボックスについて
います。
 - ヒューズは車の仕様によりないものもあります。
 - 表中の各ヒューズの受け持つ装置は主なものについて記載しています。
- 4 ヒューズが切れていたら、表（次ページ参照）、またはヒューズボックスの表示
にしたがい規定容量のヒューズに交換します。



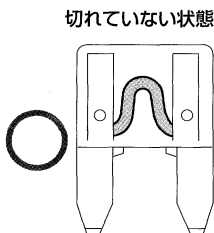
⚠ 注意

ヒューズのかわりに針金、銀紙などを使用しないでください。配線が過熱・焼損し、火災に
なるおそれがあります。

👉 アドバイス

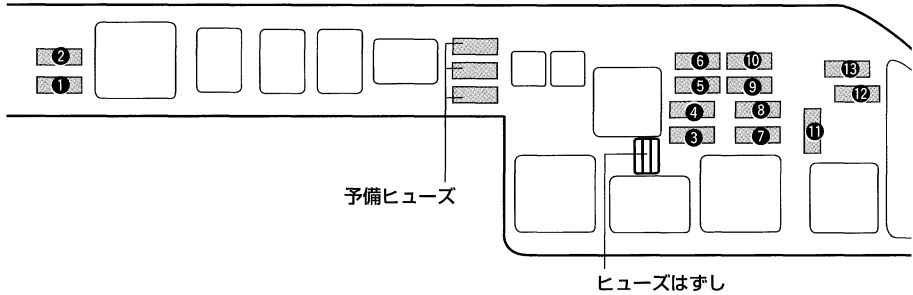
取り替えてもまたヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

- 5 ヒューズが切れていないとき、または交換してもライト類が点灯しないときは電
球切れが考えられます。
電球を点検し、切れているときは交換してください。



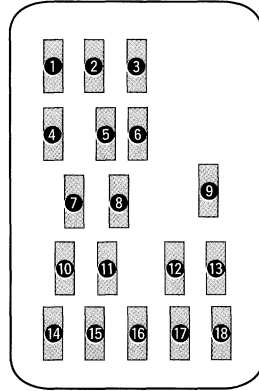
- 6 それ以外の電気系統の装置が働かないときは、トヨタ販売店で点検を受けてくだ
さい。

《エンジンルーム内ヒューズボックス》



ヒューズの受け持つ装置名称	アンペア数	ヒューズ名称	
ブレーキアシスト	10A	①	BA
電気式ドアロック	25A	②	ドアサブ
オルタネーター	5A	③	オルター-S
ヘッドランプ (右)	20A	④	ヘッドランプ (右)
E F I コンピューター	15A	⑤	E F I
ホーン	10A	⑥	ホーン
非常点滅灯スイッチ	15A	⑦	ハザード
点火系	30A	⑧	AM2
	5A	⑨	テレフォン
ヘッドランプ (左)	20A	⑩	ヘッドランプ (左)
オーディオ、ワイドマルチAVステーション	20A	⑪	ラジオNo. 1
時計、室内灯、スポットライト	7.5A	⑫	ドーム
オートエアコン	10A	⑬	エレクトロニクスB

《運転席足元ヒューズボックス》



ヒューズの受け持つ装置名称	アンペア数	ヒューズ名称
非常点滅灯スイッチ	7.5A	① ターンランプ
オーディオ、ワイドマルチAVステーション	7.5A	② ラジオNo. 2
時計、シガレットライター、電動格納ミラー	15A	③ ライタ
EFIコンピューター	5A	④ スタータ
電気式ドアロック、トランクオープナー	25A	⑤ ドアロック
オーディオ照明、メーター照明	7.5A	⑥ パネル
アクセサリソケット	15A	⑦ ACCソケット
—————	7.5A	⑧ ダイアグノーシス
フォグランプ	15A	⑨ フォグランプ
クルーズコントロール、ABS	15A	⑩ エレクトロニクスIG
メーター、SRSエアバッグ	5A	⑪ イグニション
制動灯	15A	⑫ ストップランプ
尾灯、番号灯、車幅灯	10A	⑬ テールランプ
—————	20A	⑭ シートヒータ
オートエアコン、リヤウインドウデフォッガー	10A	⑮ ヒータ
メーター	10A	⑯ メータ
ワイパー&ウォッシャースイッチ	25A	⑰ ワイパ
ミラーヒーター	10A	⑱ ミラーヒータ

電球（バルブ）の交換

ここでは主な電球（バルブ）の交換方法を記載しています。記載されていない電球の交換については、トヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 警告

ディスチャージヘッドランプを交換するときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いをすると感電のおそれがあり危険です。

⚠ 注意

ハロゲン電球はガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスが飛び散る場合がありますので十分注意して取り扱いください。また、素手で触れずにきれいな手袋を着用してください。

👉 アドバイス

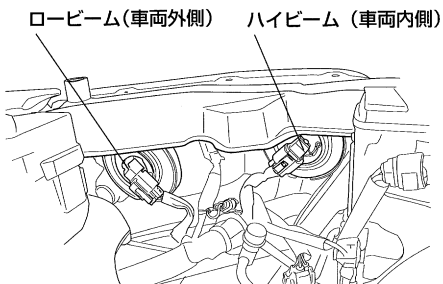
- 必ず同じW数の電球を使用してください。
- 電球および電球固定具の取り付けは確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、水入りなどによる故障およびレンズ内面の曇りにつながるおそれがあります。

🎓 知識

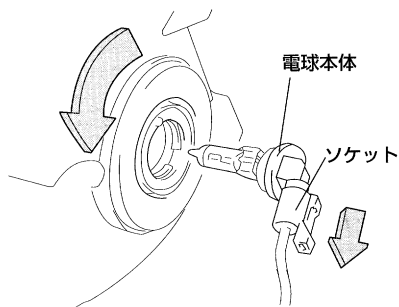
ヘッドランプ・制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、トヨタ販売店にご相談ください。

■ヘッドランプ

ディスチャージヘッドランプ付き車を除く

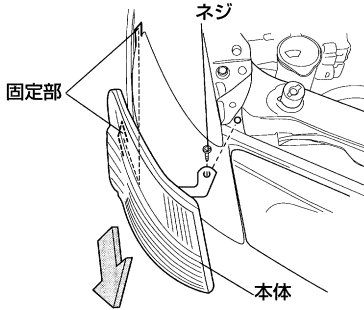


それぞれの電球本体をまわしてはし、ソケットから電球本体を取りはずします。

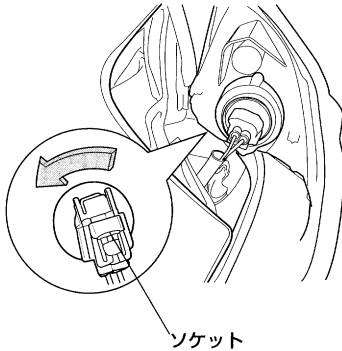


■フロント方向指示灯兼非常点滅灯

- 1 ドライバーでネジをまわしてはずし、本体を前方へまっすぐ引き出します。



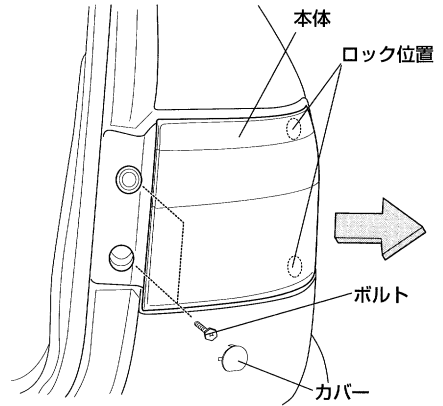
- 2 本体からソケットをまわして取り出します。



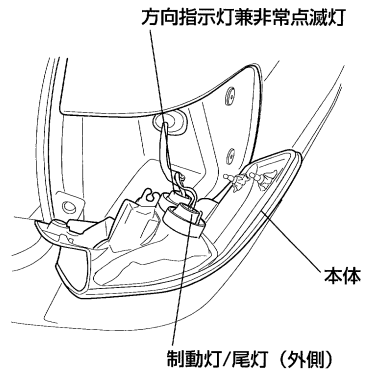
- 3 電球をソケットから引き抜きます。

■リヤ方向指示灯兼非常点滅灯、制動灯/尾灯（外側）

- 1 2カ所のカバーをはずし、ボルトをまわしてはずします。
- 2 2カ所のロックをはずし、本体を引き出します。



- 3 本体からそれぞれのソケットをまわしてはずし、電球をソケットから引き抜きます。



■リアコンビネーションランプ (内側)

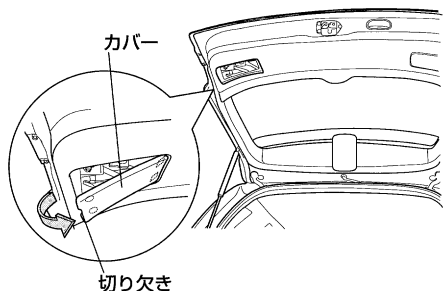
寒冷地仕様車を除く

●後退灯、制動灯/尾灯(内側)、尾灯

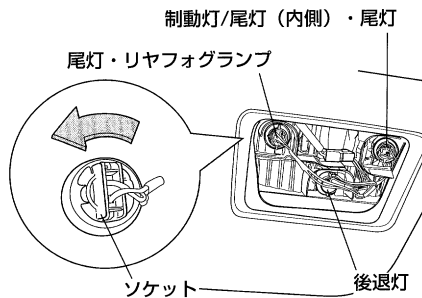
寒冷地仕様車

●後退灯、尾灯、リアフォグランプ

- 1 ドライバーなどを切り欠きにあわせて、バックドア裏側の左右にあるカバーをはずします。



- 2 本体からそれぞれのソケットをまわして取り出します。



- 3 電球をソケットから引き抜きます。

メンテナンスデータ

項 目		メンテナンスデータ		
ブレーキペダル		遊び [mm] (負圧なしの状態)	1~6	
		踏み込んだときの 床板とのすき間 [mm] {踏力490N {50kg f}} (エンジンONの状態)	80以上	
パーキングブレーキ		踏みしろ [ノッチ数] {操作力294N {30kgf}}	5~8	
Vベルト	オルタネーター & A/Cベルト	たわみ量 [mm] {約98N {10kg f} の荷重}	5S-FE	9~11
			2MZ-FE	12~14
	P/Sベルト	たわみ量 [mm] {約98N {10kg f} の荷重}	5S-FE	
			2MZ-FE	10~12
ウォッシュータンク		容量 [L]	4.5	
電 球 (W数)		ヘッドランプ ●ハイビーム 60W ●ロービーム (ハロゲン) 51W ●ロービーム (ディスチャージ) 35W 車幅灯 5W フロントフォグランプ 55W フロント方向指示灯兼非常点滅灯 21W 番号灯 5W 尾灯 5W 制動灯/尾灯 (外側) 21/5W 制動灯/尾灯 (内側) ★ 21/5W リヤ方向指示灯兼非常点滅灯 21W 後退灯 21W リヤフォグランプ ★ 21W バルブ式ハイマウントストップランプ ★ 18W 室内灯 8W スポットライト ●ムーンルーフ付き車 10W ●ムーンルーフ付き車を除く 8W ラゲージルームランプ 8W パニティミラーランプ 3W カーテシランプ 3.8W グローブボックスランプ 1.4W		

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

項 目	容量 [L] (参考値)		指 定 銘 柄
燃料 (フューエル タンク)	5S-FE	70 (4WD車は65L)	無鉛ガソリン
	2MZ-FE		無鉛プレミアムガソリン (無鉛ハイオク)
	1MZ-FE		
冷 却 水	5S-FE	6.9	トヨタ純正 ロングライフクーラント [凍結保証温度 濃度30%…-12℃ 濃度50%…-35℃]
	2MZ-FE	8.8	
	1MZ-FE		
オート マチック トランス アクスル フルード (FF車)	5S-FE	トランスミッション：5.6 ディファレンシャル：1.6	トヨタ純正オート フルードD-II
	2MZ-FE	トランスミッション：8.0 (含むディファレンシャル)	トヨタ純正オートフルード タイプT-IV
	1MZ-FE	トランスミッション：7.45 (含むディファレンシャル)	
オート マチック トランス アクスル フルード & トランス ファー オイル (4WD車)	5S-FE	トランスミッション：7.9 (含むディファレンシャル)	トヨタ純正オート フルードD-II
	2MZ-FE	トランスミッション：8.0 (含むディファレンシャル)	トヨタ純正オートフルード タイプT-IV
	トランスファー：0.9		トヨタ純正ギヤオイル スーパー (API GL- 5、SAE 75W-90)
リヤディファ レンシャル オイル (4WD車)		0.5	トヨタ純正ハイポイドギ ヤオイル (API GL- 5、SAE 85W-90)
パワー ステア リング フルード		0.8	トヨタ純正パワーステア リングフルード
ブレーキ フルード		—	トヨタ純正ブレーキ フルード2500H

項 目		容量[L] (参考値)		指 定 油 脂
		オイルのみ 交換時 充てん量	オイルとオ イルフィル ター交換時 充てん量	
エンジン オイル	5S-FE	3.4	3.6	トヨタ純正 クリーンS J (API SJ/ILSAC GF-2, SAE 10W-30) トヨタ純正 ネオS J30 (API SJ/ILSAC GF-2, SAE 5W-30)
	2MZ-FE	4.5	4.7	トヨタ純正 クリーンSH II (API SH,SAE 10W-30)
	1MZ-FE	4.5	4.7	トヨタ純正 クリーンS J (API SJ/ILSAC GF-2, SAE 10W-30) トヨタ純正 ネオS J30 (API SJ/ILSAC GF-2, SAE 5W-30) トヨタ純正 ネオS J20※ (API SJ/ILSAC GF-2, SAE 5W-20※) トヨタ純正 クリーンSH II (API SH,SAE 10W-30)

※1MZ-FEエンジン搭載車

■指定するエンジンオイル

API規格SH、SJかILSAC規格合格油をおすすめします。
 なお、ILSAC規格合格油の缶にはILSAC CERTIFICATION
 (イルサック サーティフィケーション) マークがついています。

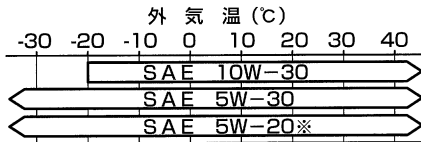


APIマーク



ILSAC CERTIFICATION
 マーク

- 下記表に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



※1MZ-FEエンジン搭載車

5W-20は最も省燃性に優れるオイルです。

■タイヤ空気圧

日常点検として必ずタイヤ空気圧を点検してください。(13ページ参照) 指定空気圧は、運転席ドアを開けたボディ側に貼られている「タイヤ空気圧」の表をご覧ください。

名称	型式	エンジン	駆動方式	グレード
マークII ワゴン	SXV20W	5S-FE	FF	クオリス
	SXV25W		4WD	クオリス Four
	MCV21W	2MZ-FE	FF	クオリス
	MCV25W		4WD	クオリス Four
	MCV20W	1MZ-FE	FF	クオリスG

MEMO